

## 1. 内政

- ・19日、ゲルマン外務・欧州統合相は、2013年夏期よりロシアのメディアが反モルドバ欧州統合路線と呼べる報道を活発化させている旨発言。
- ・21日、シュタンスキ浴ドニエストル「共和国副首相兼外相」は、ロシア国籍取得を希望する同地住民に対し、モルドバ政府が無国籍者証明書の発行を拒否しているとし非難。
- ・世論バロメーター（BOP）が3月28日～4月13日に実施した世論調査の概要は以下のとおり。  
＜次の日曜日に議会選挙があった場合の投票先＞共産党：24%自由民主党：15%、民主党8%、自由党8%、未定：37%。  
＜EU加盟＞賛成：44%、反対：37%  
＜ロシア率いる関税同盟加盟＞賛成：45%、反対：34%  
＜EU加盟と関税同盟加盟の二者択一の場合＞EU加盟賛成：41%、関税同盟加盟賛成：41%

## 2. 経済

- ▼マクロ経済
- ・24日、ドラグタヌ・モルドバ国立銀行（中央銀行）は、今後のインフレ見通しに関し、2014年は5.4%、2015年は4.8%を見込んでおり、同行としてはインフレ率を5.0%から

±1.5ポイント以内に押さえたい旨発言。

- ・24日、国立経済研究所は、モルドバの2014年GDP成長率見通しを3.7%と予想している、楽観的な見通しでは7.0%の成長もあり得る旨発表。

## 3. 外政

- ・19日、カルタル在モルドバ・トルコ大使は、トルコはモルドバと軍事部門の協力を深化させる意思がある旨発言。
- ・22日、コーカー米議員は、ガガウズを訪問し、フォルムザル・ガガウズ自治区首長と会談。
- ・23日、レアンカ首相は、新しく任命されたバスタリ・モルドバ・ウクライナ間国境管理支援担当EU使節団（EUBAM）団長と会談。
- ・24日、ティモフティ大統領は、プラハで開催された東方パートナーシップ・5周年記念サミットに参加し、5月末の連合協定調印を期待している旨発言。
- ・24日、ティモフティ大統領は、デンチーツァ・ウクライナ外相代行と会談。両者は、両国の欧州統合路線を妨害するロシアの圧力に対し、協力して対抗する必要性がある旨強調。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」（ロシア語読み）を暫定的に「キシナウ」（モルドバ語読み）と表記しています。（了）